

- 1 日 時 平成31年 2月14日（木）
- 2 学 年 1年1組 20名（男子 9名 女子 11名） Jump コース
- 3 単元名 PROGRAM10 Mike's Visit to Washington, D.C.  
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)
- 4 単元について

単元観

本単元では、新学習指導要領の（3）話すこと [やり取り] 「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に基づき、自分の考えや気持ちなどのまとまった内容を伝えた上で、その内容に対する質問に応答するなどして相手とのやり取りを展開する力を付けることをねらいとする。そのために、過去形の表現を用いながら、庄原中学校の1番印象に残っている行事などについて伝えた上で、その内容について即興で簡単な質問をしたり答えたりする等、互いに質問し合う場面を意図的に仕組むタスクを設定する。また、英語を使う必然性をもたせながら、「話すこと」から「書くこと」へと技能統合的につなげるため、来年の自分に向けて文章を書くことを設定する。さらに、本単元の学習内容を、SUNSHINE ENGLISH COURSE2「インタビュー記事を書こう」の単元と関連付ける等、発展的な単元構成可能となると考える。このことにより、生徒は自分が書いた文章を比較することができ、自分の学びの成長や表現の幅が増えたと感じることができると考える。

生徒観

本学級の生徒は習熟度別クラスの発展コースである。生徒からは、外国語を積極的に使用しようとする態度が見られ、大変意欲的にグループ学習等にも取り組んでいる。また、多くの生徒は、学習した内容や既習表現を活用し、他者と英語で話したいという意欲をもっている。

生徒アンケートを行った結果は以下の通りである。

質問項目	肯定的回答
1 英語の授業は楽しいです。	100%
2 英語を使って友だちや外国の方を話してみたいと思う。	95.0%
3 授業で学習したことを使って、英語で話そうとしています。	100%
4 授業で学習したことを、英語の授業で実際に使って話しています。	100%
5 英語で話した内容が相手に伝わると嬉しいです。	100%
6 英語を書いた文を使って何かを紹介したり、友だちや外国の方とやり取りをしたりしてみたいと思う。	85.0%
7 授業で学習したことを、英語の授業で実際に使って文章を書いています。	95.0%
8 英語で書いた内容が相手に伝わると嬉しいです。	100%
9 新しく学習した内容と前に学習した内容を結び付けて、学習を進めようとしています。	100%

上記の結果から、英語を話すことに関しては、間違いを恐れずに話そうとする生徒が多い。しかし、即興で質問する場合、「質問ができない」のではなく、「質問できる内容が思いつかない」という生徒が多いことが課題である。即興で質問することは、生徒にとって容易ではないと思われる。従って、新出構文や既習表現を活用するアクティビティを通し、質問に関する表現を身に付けるための指導を継続して行っている。この取組により、生徒の即興で質問する力は確実に高まってきている。今後、既習表現を効果的に活用させ、やり取りの幅を広げさせるとともに、「話すこと」を踏まえた「書くこと」の指導を取り入れる等、技能を統合した指導の充実を図る必要があると考える。

指導観	本単元の目標を達成するために、次の3点を重点的に指導する。
	①英語で行事などを紹介する表現などについて、 <b>基礎・基本の定着</b> を図る。
	②英語で行事などを紹介し合う場面において、聞き手に応じた表現方法を考えさせるなど <b>主体的な学び</b> を促す。
	③第6学年の児童に庄原中学校の行事を英語で紹介するというゴールに向け、「うまく質問ができない」「うまく答えられない」などを経験し、自分自身で課題を見付けさせる。また、その課題解決に向け、探究し表現させることで、 <b>本校の資質・能力</b> である「庄中FIND」「表現力」を身に付けさせる。

## 5 単元の目標

- 【コ】間違いを恐れずに、今まで学習した表現を用いて、積極的に質問したり答えたりしようとしている。
- 【表】相手が紹介した内容について、より詳しい情報を引き出す質問をすることができる。
- 【理】教科書の本文を読み、内容を的確に読み取ることができる。
- 【知】過去形の表現について文の形・意味・用法について理解する。

## 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れずに、積極的に質問したり答えたりしようとしている。	その場に応じて適切な表現を選択し、やり取りをすることができる。	教科書の本文を読み、内容を的確に読み取ることができる。	規則動詞と不規則動詞、 <b>Did you～?</b> や <b>didn't</b> などの文の形・意味・用法について理解できる。

## 7 本校で身に付けさせたい資質・能力

庄中FIND	表現力	行動力	協働する力	貢献（自己肯定感）
自分自身で課題を見付け、ゴールに向けて探究しようとする力が身に付いている。	その場に応じて適切な表現を判断し、紹介したり、問答したりする学びを目指す。	相手に伝えたり、問答したりするなど、積極的に行動する態度を目指す。	他者と意見や考えを交流することで、より良い解決方法を導き出す姿勢を目指す。	互いが紹介したことについて、意欲的に質問することで、より良い人間関係を形成しようとする態度を目指す。

## 8 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	中学校での1年間の行事や出来事を同級生に紹介するために、伝えたい内容を整理し、相手からの質問に答えることができる。	
目指す発話例	We wrote about May. Because we like sports day. Because we like sports. We tried relay. It was good. We won!	Why did you choose May? Why do you like sports day? I see. What did you do? OK. How was it? Oh, that's nice.

9 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

- ①今まで学習した表現を用いて、その場で質問をしたり答えたりする。
- ②関連する言語材料

We Can! 2	Hi, friends!2 → 中学校	中学校
≪Unit5 My Summer Vacation≫ I went to～. I enjoyed～. I saw～. It was～.	相手が話した内容についてあいづちをする簡単なタスクから、紹介した内容についてDid you～?や過去形などを用いて質疑応答することで、より自然な会話につながる。	Did you～? I didn't～. I sang～. We tried～.

10 単元計画 (全11時間)

時	目標 (◆)・主なやり取り等 (*)	評価規準・評価方法
1	◆ 過去にしたことや出来事を伝える表現を知る。 *ペアで昨日したことを伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         A : I studied English yesterday.                          How about you?                          B : I studied math.                          I played tennis after school.                          A : I ate curry for dinner.                          B : I ate <i>okonomiyaki</i> for dinner.                     </div> *単元末のパフォーマンス課題についても説明を行う。	行動観察 (ア) 授業ノート (エ)
2	◆ 過去にしたことや出来事を尋ねたり、答えたりする表現を知る。 *ペアで昨日したことについて尋ね合ったり、答え合ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         A : I studied English yesterday.                          Did you study English?                          B : No, I don't. But I watched TV.                          A : What did you watch?                          B : I watched <i>Himitsuno Kenmin Show</i>.                          I like it.                     </div>	行動観察 (ア) 授業ノート (エ)
3	◆ 理由を尋ねたり、それに答えたりすることができる。 *ペアで好きなものについて話したり、理由を尋ねたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         A : I like Nishikori Kei.                          B : Why do you like him?                          A : Because I like tennis.                          And he is cool.                          B : I see.                          A : How about you?                          B : I like Amuro Namie.                          A : Why do you like her?                          B : Because she is good at singing.                          I like her very much.                     </div>	行動観察 (ア) 授業ノート (エ)
4	◆ 1年間の行事や出来事を紹介するときに必要な情報を集めるために、教科書の本文を読み、その内容を理解する。	行動観察 (ウ) 授業ノート (ウ)
5	◆ 1年間の行事や出来事を紹介するときに必要な情報を集めるために、教科書の本文を読み、その内容を理解する。	行動観察 (ウ) 授業ノート (ウ)

6	<p>◆ 1年間の行事や出来事を紹介するときに必要な情報を集めるために、教科書の本文を読み、その内容を理解する。</p>	<p>行動観察 (ウ) 授業ノート (ウ)</p>
7	<p>◆ 1年間の行事や出来事を整理し、紹介文の構想を立てる。 * 思い出に残っている行事を1つ取り上げ、なぜそれを選んだのかペアで伝え合う。</p> <div data-bbox="244 353 1054 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : What event did you choose? B : I chose a chorus festival. A : Why? B : Because I like singing. A : I see. How about you? B : I chose a sports festival. A : Why? B : Because I like sports. A : Oh, me too.</p> </div>	<p>ワークシート (エ) 後日パフォーマンス テスト (イ)</p>
8	<p>◆ 1年間の行事や出来事を整理し、グループで簡単な紹介文を書く。 * グループで思い出に残っている行事を1つ取り上げ、伝えたい内容を整理する。</p> <div data-bbox="244 837 1054 999" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>We chose June. We had a sports festival. We ran fast. It was hard.</p> </div>	<p>ワークシート (エ)</p>
9	<p>◆ 1年間の行事で思い出に残っているものを紹介し合う。 * 各グループから1人ずつ集まってグループになり、行事を紹介し合う。 紹介した内容について即興で質問をしたり答えたりする。</p> <div data-bbox="244 1164 1050 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : We chose June. B : Why did you choose June? A : Because we had a sports festival. B : I see. When? A : <u>Sorry, I don't know.</u> 【答えられない(上手くない)】 B : OK. C : What did you do? A : We ran fast. D : How was it? A : It was hard.</p> </div> <p>※紹介し合った後で、課題について改善点を考える。</p>	<p>ワークシート (エ) 後日パフォーマンス テスト (イ)</p>
10 【本時】	<p>◆ グループの課題を解決するために紹介し合う活動に再挑戦し、文集の構想を考える。</p> <div data-bbox="244 1637 1067 1977" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : We chose June. B : Why did you choose June? A : Because we had a sports festival. B : I see. When? A : It was June 2<sup>nd</sup>. 【改善点に再挑戦する】 B : OK. C : What did you do? A : We ran fast. D : How was it? A : It was hard.</p> </div>	<p>行動観察 (ア) 後日パフォーマンス テスト (イ)</p>
11	<p>◆ 1年間の行事の中で思い出に残っているものをALTに紹介する。 ◆ 来年の自分に向けて思い出の文章を書く。</p>	<p>パフォーマンステスト (ア) (イ)</p>

11 本時の学習

(1) 本時の目標

- それぞれのグループで前時に出た課題を改善して再挑戦し、相手から質問された内容も踏まえながら紹介文の構成を考える。

(2) 本時の評価規準

- 間違いを恐れずに、積極的に質問したり答えたりしようとしている (ア)
- その場に応じて適切な表現を選択し、やり取りをすることができる。 (イ)

(3) 準備物

ワークシート, 電子黒板, iPad

(4) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
15分	<p>1 《Small Talk》 (グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐろくを用いて, 様々な質問を即興で作り答えることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>Small Talk</b> (小学校との<b>接続</b>)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メインとなる活動でのやり取りをより円滑にさせるために, 偏った質問ではなく, 様々な種類の質問ができるようにさせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">すぐろくを振る生徒</p> <p>S<sub>1</sub> : (さいころを振って出たマスの動詞を使って) <b>I studied English.</b></p> <p>S<sub>1</sub> : I studied English yesterday.</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">次にすぐろくを振る生徒</p> <p>S<sub>2</sub> : (答えた内容について) <b>When did you study English?</b></p> <p>S<sub>2</sub> : OK. I see.</p> </div>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な質問に答える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>Small Talk</b> (小学校との<b>接続</b>)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師対生徒の質問を行い, その答えに関する質問をして, 様々な形の質問に慣れさせるだけではなく, 質問の幅を増やさせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>Small Talk 例</b></p> <p>T : What event did you choose? T : Why? T : I see. What did you do? T : OK. How many times did you jump?</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S<sub>1</sub> : I chose a sports day. S<sub>1</sub> : Because I like sports. S<sub>2</sub> : I did <i>nawatobi</i>. S<sub>2</sub> : I jumped about 10.</p> </div>	
20分	<p>2 《ねらいの確認》 (全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>前時の課題を改善するために, 紹介し合う活動に再挑戦し, 紹介文の構想を考える。</p> </div>		
	<p>3 《Activity》 (ペア or グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時で紹介し合う活動を行っていないグループ同士で紹介する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《やり取り例》</p> <p>A : We chose a sports day. B : Why did you choose it? A : Because we like sports. B : I see. What did you do? A : We did relay. It was exciting. B : I like <b>it</b> too.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あまり助言はせず, まず挑戦させる。</li> <li>・ やり取りの途中で質問に答えられないなどがあれば活動を止めて全体で考えさせたり, 1度グループに戻ってどのような質問をされたのかを考えさせたりするなど表現の幅を広げさせてやり取りの精度を高めさせる。</li> <li>・ 質問や答えに対して, 内容が理解し</li> </ul>	<p>行動観察 (ア)</p> <p style="color: red;">後日パフォーマンス テスト (イ)</p>

		<p>ていることを表現させるために、リアクションを入れさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい英語でなくても良いので、相手の反応などを見ながら、今まで学習した内容を用いて状況に応じたやり取りを行わせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>主体的な学びから深い学びに繋ぐ手立て</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の改善点に加えて、会話を続けたり深めたりさせるために、<b>by the way</b> や <b>For example</b> などを用いてやり取りの幅を広げさせる。</li> </ul>	
15分	<p>5 《まとめと振り返り》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の改善点を基に、再挑戦した内容や本時のやり取りを文集にどのように生かすのか考える。</li> <li><b>Evaluation Sheet</b> に振り返りを書く。</li> <li>次時の学習について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者が何を知りたいと思っているのかをグループで話し合わせて、構成の概要を考えさせる。</li> <li>振り返り表に達成できたことや難しかったことなどを記入させる。</li> <li>まとめや振り返りから、本時の学習をどのように生かすことができるのかを考えさせる。</li> </ul>	

## 12 パフォーマンステスト（ALTとのやり取り）

コミュニケーションの目的・場面・状況	新しく来たALTに中学校での1年間の行事や出来事を紹介するために、グレンディー先生の質問に答えながら、やり取りを続けることができる。	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力
A	間違いを恐れずに、学習したことを用いて積極的にやり取りを続けようとしている。	・行事を紹介する表現だけではなく、既習事項も取り入れてやり取りを続けている。
<p>A : Hi, I'm new here. So please tell me about your school.</p> <p>S : OK. <b>We chose</b> June.</p> <p>A : Why did you choose June?</p> <p>S : <b>Because</b> we had a sports day.</p> <p>A : When was a sports day?</p> <p>S : <b>It was</b> June 2<sup>nd</sup>.</p> <p>A : I see. What did you do?</p> <p>S : <b>We ran</b> in a relay. <b>It was exciting.</b></p> <p>A : Nice. Anything else?</p> <p>S : <b>We did</b> a tug of war.</p>		

<p>A : How was it?</p> <p>S : <b><u>It was hard.</u></b> But <b><u>it was fun.</u></b></p>		
B	<p>間違いを恐れずに、学習したことを用いてやり取りを続けようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を紹介する表現を用いて、やり取りを続けている。</li> <li>・多少の表現の間違いはあるが、やり取りが成立しており、紹介することができる。</li> </ul>
<p>(具体的な発話)</p> <p>A : Hi, I'm new here. So please tell me about your school.</p> <p>S : OK. <b><u>We chose</u></b> June.</p> <p>A : Why did you choose June?</p> <p>S : <b><u>Because</u></b> we <b><u>have</u></b> a sports day.</p> <p>A : When was a sports day?</p> <p>S : <b><u>June 2<sup>nd</sup>.</u></b></p> <p>A : I see. What did you do?</p> <p>S : <b><u>Relay.</u></b> <b><u>It was exciting.</u></b></p> <p>A : Nice. Anything else?</p> <p>S : Nawatobi.</p> <p>A : How was it?</p> <p>S : <b><u>It was fun.</u></b></p>		
C	<p>自ら意欲的にやり取りをしようとする姿勢が見られない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りが成立しておらず、思い出に残っている行事を紹介することができていない。</li> </ul> <p>例) グレンディー先生から聞かれた内容について答えられない、または適切ではない解答をする。紹介をするときに、“Sports day”, “fun”など紹介するのに必要な表現を用いることなく、単語のみで答えている。</p>
<p>(具体的な発話)</p> <p>A : Hi, I'm new here. So please tell me about your school.</p> <p>S : OK. <b><u>We chose</u></b> June.</p> <p>A : Why did you choose June?</p> <p>S : <b><u>Because</u></b> I like sports.</p> <p>A : When was a sports day?</p> <p>S : …… (質問の意味が分からなく答えられない)</p> <p>A : I see. What did you do?</p> <p>S : <b><u>Run.</u></b></p> <p>A : Nice. Anything else?</p> <p>S : …… (質問の意味が分からなく答えられない)</p> <p>A : How was it?</p> <p>S : <b><u>fun.</u></b></p>		